

2 0 2 0 年
7 月 2 2 日
第 2 6 号



丸車family

J R 東日本輸送サービス
労 働 組 合
丸の内車掌区分会
発行責任者 江口 知秀
編集責任者 情 宣 部

「何度も話してきた!」? 嘘はやめてくれ!

7月31日、41年間勤務し定年退職を迎えるSさんに対して、信じられないような再雇用に向けた説明がされています。これは、Sさん一人の問題ではありません。この間、特に東京における退職後の再雇用制度が「54歳研修」時の説明や労使間の約束が守られていない状況が多く出されています。東京地本は早急な団体交渉を求めています、いまだに開催されていません。会社は約束したことを守るべきです!

①7月11日、休憩中に区長が隣の椅子に座っての会話

区長=見つけているけどないんだよなあ。

S =これまで一切エルダーの話がないよね。

区長=これまで何度もしてきた。

S =嘘をつくのはやめてよ!経過も含めて一度もエルダーの話はない。

区長=そんな言い方しているとどこにも行けないよ。

これが再雇用の説明のスタートです!

②7月16日、非番で区長室での会話

区長=何社かあたっているが、相手会社から結果が来ていない。明日が最終乗務で休みに入ってしまうが、電話で良いか。

S =休みが入っているのは知っていますよね?遅いからそのようになるのではないか。7月11日、はじめてエルダーの話をされた時に「何度も話をしている」と言っていたが、その中身を聞きたい。

区長=1年前から希望を聞いている。

S =それは自己申告書の話ですよ。

区長=そうだ。そこで希望を聞いている。今の状況でなかなか受け入れ先がない。何もやっていない訳ではない。

S =そのような話は11日に初めて聞いた。事前に話をしてくれれば良いではないか。

区長=出向の具体的な話はしていない。なぜ一方的だけを求めるのか。自分からどうなっているのか聞きに来れば良いではないか。

S =私が悪いのか。区長と面談で話したのは何年か前に1回だけですよね?

区長=1回だけだが、捉え方が違うだけ。出向の話は11日以前には話をしていない。面談以外はしていない。決まっていないことを何回も言っても仕方がない。

S =改めて私が希望しているのは〇〇地区。その理由は、親が倒れて介護をしている。デイサービスに週2回お世話になっているのでお願いしたい。

区長=なかったらどうする。

S =家族と相談する。